

一、総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和7年3月4日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時00分～午前10時35分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	三浦課長、川村補佐、石井補佐、高橋係長、見上係長、相沢主査

No.	質疑応答の概要
	一般会計
1	P31 自衛官募集事務委託金について、自衛隊からの要請によるものか。 <input type="checkbox"/> 答 自衛隊法第97条の規定により、自衛官等の募集事務の一部を市町村が行うことになっている。
2	P39 財政調整基金について、現額は。 <input type="checkbox"/> 答 令和6年度予算の3月補正と令和7年度当初予算を加味した金額は、およそ30億円となる。
3	P39 合併振興基金について、現額は。また、これまでに取崩した実績は。 <input type="checkbox"/> 答 令和6年度予算の3月補正と令和7年度当初予算を加味した金額は、およそ10億円となる。毎年度ソフト事業に充当しているが、直近では、みっしゅの備品等に充てている。
4	P47 過疎債について、決定額か。 <input type="checkbox"/> 答 令和7年度の申請後に配分が決定するため、当初予算額に不足が生じた場合は、他の財源について検討する。
5	P63 ため池埋め立て工事について、該当地は。 <input type="checkbox"/> 答 大曲コミュニティセンターに隣接するため池と、有限会社川上自動車の国道向いのため池の2か所である。いずれも農業用・防災用等の使用がないため、埋め立てることとした。
6	P82-84 秋田県知事選挙費及び参議院議員選挙費に関連して、衆議院選挙における投票区再編に対する各施策の効果は。 <input type="checkbox"/> 答 各施策の利用者数は、移動期日前投票所（7か所）が131人、共通投票所が琴丘地域拠点センター12人・山本地域拠点センター28人・鶴川地区館3人、ふれあいバス（8日間）が34人であった。一定数の利用があったため、今後も全ての選挙において継続していきたい。
7	P83・85 秋田県知事選挙に係る報酬額と参議院議員選挙に係る報酬額に差がある理由は。 <input type="checkbox"/> 答 いずれも選挙期間が同日数のため報酬額も同額となるものであるが、秋田県知事選挙は令和6年度予算にも措置されているため、令和7年度予算ではその分の差が生じている。

No.	質疑応答の概要
8	<p>P202 会計年度任用職員について、昇給・退職手当・経験年数の加味はどうなっているか。</p> <p>答 昇給は、人事評価において良好と判断された場合には、2号給の加算としている。また、退職手当については、フルタイムの場合が支給対象であり、パートタイムの場合は失業保険が適用される。民間職歴の加味は、原則として、行わないこととしている。</p>
9	<p>P209 地方債の償還計画は、中・長期に考えられているか。また、今後において行政サービスの質を落とすことにならないか。</p> <p>答 毎年10月頃に行っている中期シミュレーションでは、令和11年度を償還のピークと見込んでおり、また、本町の財源は地方交付税に依存しているところではあるが、財政調整基金について大型投資に向けた確保を図ってきたため、今後も健全財政を維持できるものと見込んでいる。</p>

一、議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和7年3月4日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時36分～午前10時47分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 島山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	池内主席主査
No.	質疑応答の概要
10	<p>一般会計</p> <p>P53 会議録検索システム導入業務等について、概要は。</p> <p><input type="checkbox"/> 答 現在、ホームページにおいてPDFにより公開している会議録について、利便性向上を図るため、発言者（議員）検索・用語検索が可能なシステムの導入を目指すものであり、現議員任期分の会議録を搭載したうえで、令和7年10月の稼働を目途に進めたい。</p>
11	<p>P53 議会ハラスメント研修業務について、概要は。</p> <p><input type="checkbox"/> 答 三種町議会ハラスメント防止条例第6条の規定に基づき、議長の判断により、令和7年度における実施について予算化したものである。</p>

一、企画政策課

日 程	令和7年3月4日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午前10時58分～午前11時58分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 島山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	加藤課長、門間補佐、伊藤補佐、大村係長、渡辺係長

No.	質疑応答の概要
	一般会計
1 2	P37 光通信網設備貸付料に関連して、当該施設の譲渡予定時期は。 <input type="checkbox"/> 答 令和9年度の予定である。
1 3	P39・199 ふるさと元気づくり寄附金とふるさと元気づくり基金の関係は。 <input type="checkbox"/> 答 寄附金として収入されたものについて、年度末に基金に積立て、翌年度に使用するというサイクルで運用している。
1 4	P45 男女共同参画事業参加料について、予算額1千円としている理由は。 <input type="checkbox"/> 答 講習会等の開催に伴う参加費が必要となった場合に備えて存置したものである。
1 5	P63-65 次期みらい創造プラン策定業務について、どのように策定業務を進める予定か。また、住民参加により作られるものか。 <input type="checkbox"/> 答 現行みらい創造プランを総括し、人口推計を見直したうえで、現状の課題を整理したい。事前に行う予定の住民アンケートにおいては、前回に引き続き、町民の幸福度について調査し、可能な限り町民の意見を取入れたい。
1 6	P65 地域おこし協力隊業務について、協力隊の身分は。また、新規募集の業務内容は。 <input type="checkbox"/> 答 会計年度任用職員としての申出がない限り、業務委託としている。新規募集については、情報発信業務2人・定住に関するフリーミッション1人を予定している。
1 7	P65 おためし地域おこし協力隊業務の概要は。 <input type="checkbox"/> 答 本町の協力隊業務について、6・7月くらいに2泊3日程度で体験してもらうという試みであり、そのプランコーディネートを協力隊OBに委託するものである。
1 8	P65 公共施設等太陽光発電設備導入調査業務の概要は。 <input type="checkbox"/> 答 公共施設のうち防災の拠点としている施設に、太陽光発電設備を設置できるか調査するものである。
1 9	P67 地域おこし協力隊起業支援補助金の対象は。 <input type="checkbox"/> 答 令和6年度に任期を終える2人分について、令和7年度予算に各100万円を措置したものである。

No.	質疑応答の概要
20	<p>P69 施設予約システム利用料に関連して、順調に稼働しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 現在（3月4日現在）189件の利用者登録があり、稼働時には利用者登録の不備等も指摘されたが、2月に担当者会議を開くなど、安定的な運用に向けた調整を行っている。</p>
21	<p>P71 集会所等施設整備費補助金に関連して、町民から、町有施設であれば、町が改修費等を負担すべきではないかという意見も聞かれるが、見解は。</p> <p><input type="checkbox"/> 集会所は町有・私有さまざまなケースがあるため、使用者負担の原則により当該補助金を運用している。</p>
22	<p>P71 住民共助による地域づくり活動助成金について、利用団体数は。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和6年度は、102自治会中、10団体の利用があった。今後も機を見て周知していきたい。</p>
23	<p>P75 東京みたね会に関連して、北海道みたね会が解散したが、類似的な会を立ち上げる計画はあるか。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画はない。</p>
24	<p>P75 定住対策事業について、十分な予算と考えているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 主に旅費を措置しているが、町単独ではなく、県北地区など合同でPRを行うことを想定している。定住対策には特効薬はないと認識しているので、予算を伴わない取組や今の事業をブラッシュアップするなど、ふるさと回帰に力を入れていく。</p>
25	<p>P75 三種ふるさと便について、成果はあったのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 数値的な実績は確認できていないため、令和7年度においては、双方向の情報交換ができるような仕組みを検討したい。</p>
26	<p>P75 結婚支援事業について、取組は効果的であったか。</p> <p><input type="checkbox"/> 結婚祝金の交付実績が、当初の半分くらいに減少しているが、イベント等による成果について、町では正確に把握できていないので、令和7年度の課題としたい。</p>
27	<p>P77 住宅取得支援補助金について、空家の利活用促進につながるものか。</p> <p><input type="checkbox"/> 中古物件も補助対象としているので、効果があるものと考えている。</p>
28	<p>P76-78 公共交通政策費について、ふれあいバスの運転手の日当の上げは。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和7年度においては、予定していない。</p>

一、税務課

日 程	令和7年3月4日（火）
会 場	第1会議室
開 会	午後1時00分～午後1時20分
出席委員	平賀 真（委員長）、森山大輔（副委員長）、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、阿部補佐

No.	質疑応答の概要
	一般会計
29	<p>P17 個人住民税について、個人の納税額が令和6年度に比べ61,223千円増えている主な要因は、米価が上がったことか。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去3年間の平均に農業所得を加味して予算計上したものであり、一概に米価が影響しているとは言えない。</p>
30	<p>P17 個人所得の課税分には、農業所得以外にどのようなものがあるか。</p> <p><input type="checkbox"/> 営業所得、不動産所得、配当所得、雑所得として年金、そして最も大きいものとしては給与所得があり、全体の約80%を占めている。</p>
31	<p>P17 農家所得以外では、何が増えているのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 伸びとしては、不動産所得と年金等となっている。</p>
32	<p>P17 たばこ税について、前年比で2,783千円伸びた要因は。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去5年間の平均決算額に、本数の伸び率等を考慮して予算計上している。</p>
33	<p>P17 固定資産税について、今後、特定空家の影響がでてくると言われているが、令和7年度において影響はあるのか。</p> <p><input type="checkbox"/> ないものと考えている。</p>
34	<p>P19 入湯税の増減率が103.41%となっているが、利用者が増える見込みなのか。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去3年間の増減を考慮したものである。</p>
35	<p>P21 自衛隊基地交付金について、定額か。</p> <p><input type="checkbox"/> 減少傾向にある。</p>

一、農林課

日 程	令和7年3月4日(火)
会 場	第1会議室
開 会	午後1時30分～午後2時10分
出席委員	平賀 真(委員長)、森山大輔(副委員長)、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	小玉課長、平塚補佐、岩谷補佐、大高係長、伊藤係長、木村係長

No.	質疑応答の概要
	一般会計
3 6	P19 森林環境譲与税について、基金の積立額は。 答 令和5年度末まで約34,000千円を積立していたが、6年度以降は、航空レーザー測量及びデータの解析費用に充てている。
3 7	P127 環境保全型農業直接支払交付金について、対象と支払いの条件は。 答 基本的には減農薬・減化学肥料に取り組む者に対する支援となっており、令和7年度はJA秋田やまもとの特裁米部会が取り組む堆肥散布に対し交付するものである。
3 8	P129 農村公園の遊具について、維持すべきところは維持していくという認識でよいか。 答 撤去するにしても、自治会と十分に協議してから決定することとしている。
3 9	P129 県営ため池等整備事業として、山谷沢見地区とあるが、赤川ため池の分はないのか。 答 赤川ため池の災害復旧整備については、令和6年12月20日に事業が終了し、完成検査も終えている。
4 0	P131 松くい虫とナラ枯れ被害について、処理方法は。 答 八竜地域沿岸部の松くい虫については、調査は町で行い、伐倒・薬剤散布は県で行うこととしている。町内全域のナラ枯れについては、町の単独事業で伐採している。
4 1	P131 ナラ枯れ被害が起きている場所はどこか。 答 被害が多くみられるところは、石倉山公園から羽根川ダムにかけてである。
4 2	P131 松くい虫の防除について、これまでも同じような事業を行ってきた効果があったようには思えないのだが、どのように評価し、今後どのような取り組みをしていくのか。 答 薬剤散布については、被害拡大を抑えるという意味合いが強く、効果としては、これ以上被害が増えていかないということで確認している。
4 3	P131 薬剤散布の場所は。 答 町で薬剤散布を実施しているのは、石倉山公園と琴丘中央公園である。
4 4	P131 有害鳥獣対策として、木の伐採予算は計上されているか。

No.	質疑応答の概要
	<p>☐ 現段階では被害等の情報もないことから、計上していない。</p>
4 5	<p>P131 電気柵設置費補助金は、これまでと同じか。</p>
	<p>☐ 農作物を出荷している方のみを対象としたもので、同じである。</p>
4 6	<p>P131 鳥獣被害対策実施隊の報酬は、これまでと同じか。</p>
	<p>☐ 同じである。</p>
4 7	<p>P133 漁業振興計画策定とあるが、具体的にはどういった計画なのか。</p>
	<p>☐ 気候変動で魚種が減少し、洋上風力で漁業海域が制限されることに伴い、今後の新たな漁業振興を図るため、主に八竜漁協と一緒に計画を立てるものである。</p>
4 8	<p>P133 水産振興費の特定財源300万円の内訳は。</p>
	<p>☐ ふるさと元気づくり基金である。</p>
4 9	<p>P133 普通旅費に182万円計上されているが、これは漁業振興計画策定のために必要としているものか。</p>
	<p>☐ 海の魚は少なくなってきており、陸上養殖等も念頭に入れ計画を作成するため、先進地視察を考えている。</p>
5 0	<p>P133 視察に182万円掛けるのか。</p>
	<p>☐ 検討委員会の設置を計画しており、検討委員による視察研修のための旅費として見込んでいる。</p>
5 1	<p>P133 検討委員は、12人を見込んでいるのか。</p>
	<p>☐ 現在は未定だが、それくらいを予定している。</p>
5 2	<p>P133 研修先は決まっているのか。</p>
	<p>☐ 研修先はまだ決まっていない。検討委員会での協議により、取組む内容・本町の条件等を勘案しながら決める。</p>
5 3	<p>P133 策定業務の委託先は。</p>
	<p>☐ 県から専門のコンサルの紹介はいただいているが、未定である。</p>
5 4	<p>P133 わかさぎ卵放流事業は、羽根川ダムに放流するためのものか。</p>
	<p>☐ 八郎湖に放流するものである。</p>
5 5	<p>P133 再造林等補助金について、交付条件は。</p>
	<p>☐ 国県の補助事業に対する町の嵩上げ事業となっている。</p>

一、教育委員会事務局・教育機関

日 程	令和7年3月5日(水)
会 場	第1会議室
開 会	午前10時00分～午前11時15分
出席委員	平賀 真(委員長)、森山大輔(副委員長)、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	牧野次長、国塚補佐、木村補佐、相原補佐、川村補佐、梅田係長、 児玉係長

No.	質疑応答の概要
	一般会計
5 6	P43 学校給食費負担金(教職員等)について、何人分か。 <input type="checkbox"/> 答 311人分である。
5 7	P159 特別支援教育支援員は、不登校対策も含めて十分な人数を配置しているという認識でよいか。 <input type="checkbox"/> 答 特別支援教育支援員の職務では、不登校対策に関することは行っておらず、児童生徒の学びを支える支援スタッフや特別教育相談員を中心に相談・支援・援助するほか、各校内においても担当教員を置いて対応することとしている。さらに、県から会計年度任用職員として町に配置されているスクールカウンセラー3人、山本出張所に配置されたスクールソーシャルワーカー2人、北教育事務所とも連携し、町だけでは人数が足りない分は県全体で補っていくこととしている。
5 8	P159 児童生徒の学びを支える支援スタッフは常駐か。 <input type="checkbox"/> 答 常駐である。
5 9	P163 ランドセル等購入事業について、ランドセルと自転車ヘルメットの購入個数は。また、ランドセルが重いという話も聞かれるが、対応は。 <input type="checkbox"/> 答 ランドセルは予備の3個を入れて48個、ヘルメットは小学校が予備3個を入れて71個、中学校が予備3個を入れて87個となっている。ランドセルの在り方については、今後、保護者と相談しながら決定していく。
6 0	P163 奨学金返還助成金について、概要は。 <input type="checkbox"/> 答 県または町の奨学金を利用した人が、三種町に住んで返還している場合、年間10万円を上限として返還金の一部を助成するものである。
6 1	P165 GIGAスクール端末購入費について、既存の端末と同等のスペックで更新するのか。 <input type="checkbox"/> 答 既存の端末よりも性能の良いものを予定している。
6 2	P165 通学費補助金について、基準は。また、何人分か。 <input type="checkbox"/> 答 小学校は4キロ以上、中学校は6キロ以上の通学距離があり、スクールバスが運行されていない場合に補助を行っており、31人分を措置している。
6 3	P167 一学級一新聞事業について、概要は。

No.	質疑応答の概要
	<p>〔答〕 町内全ての小中学校において、さきがけ新聞や北羽新聞などを購読するための経費を計上している。</p>
6 4	<p>P179 統合中学校建設工事費に関連して、工事の進捗は計画どおりか。</p> <p>〔答〕 計画どおり進んでいる。</p>
6 5	<p>P179 統合中学校施設備品費について、必要なものは網羅されているか。</p> <p>〔答〕 必要と思われるものを全て計上している。</p>
6 6	<p>P189 大会出場激励金について、概要は。</p> <p>〔答〕 全国大会に出場する際、1人あたりに支給する激励金で、一般は東北開催5,000円、東北以外開催1万円、小学生以上大学生以下は別に町からの補助金が支給されていない場合に5,000円となっている。</p>
6 7	<p>P191 スポーツ大会運営費補助事業について、対象種目と大会名、補助率は。また、今後、大会の数を増やす予定は。</p> <p>〔答〕 野球は大学準硬式野球大会・高校硬式野球招待試合、バスケットボールは大学バスケットボール大会・北緯40度中学校バスケットボール交流大会、バレーボールはメロンカップ小学校バレーボール大会であり、大会運営に対しての定額補助である。補助対象の拡大については、スポーツ団体が主管する新しい大会が安定的に企画・運営されるようであれば、増やすことを検討する。</p>
6 8	<p>P194 会計年度職員（パート18人）について、内訳は。</p> <p>〔答〕 事務職員1人、給食センターの調理員17人である。</p>
6 9	<p>P197 給食センターの搬入路舗装補修工事設計業務7,898千円について、工事の概要は。</p> <p>〔答〕 センターの東側と西側、全面を擦り合わせてなだらかな形に出来ないか考えており、危険を取り除き景観を保つことを目的として検討する。</p>

一、会計課

日 程	令和7年3月5日(水)
会 場	第1会議室
開 会	午前11時25分～午前11時35分
出席委員	平賀 真(委員長)、森山大輔(副委員長)、 島山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	皆川課長、成田補佐
No.	質疑応答の概要
70	<p>一般会計</p> <p>P25 コピーの使用料について、単価は。</p> <p>答 白黒10円、カラー80円である。</p>

一、農業委員会事務局

日 程	令和7年3月5日(水)
会 場	第1会議室
開 会	午前11時35分～午前11時45分
出席委員	平賀 真(委員長)、森山大輔(副委員長)、 島山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	見上事務局長、渡邊主任、寺沢専門員
No.	質疑応答の概要
7 1	<p>一般会計</p> <p>P120 農地パトロールの内容と目的は。</p> <p>答 農業委員と農業委員会事務局職員とが3班体制で3日間に渡り、①地域農地利用の確認、②遊休農地の実態調査、③違反転用の発生防止・早期発見を目的に回るものである。</p>

一、商工観光交流課

日 程	令和7年3月5日(水)
会 場	第1会議室
開 会	午後1時00分～午後1時49分
出席委員	平賀 真(委員長)、森山大輔(副委員長)、 畠山勝巳、三浦 敦、伊藤千作、三村 眞、小澤高道、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	清水課長、川村補佐、田中係長、近藤係長、工藤専門監

No.	質疑応答の概要
	一般会計
7 2	P39 ふるさと元気づくり基金について、3,560万円の充当事業は。 答 地域雇用創出推進事業費に1,000万円、房住山展望台改修工事費に60万円、釜谷浜海水浴場管理費に500万円、地域活性化イベント事業費に2,000万円である。
7 3	P119 資格取得支援事業補助金について、対象となる資格の範囲を拡充する考えは。 答 現行は国家資格等を対象としているが、資格の種類が多様が増えてきていることも認識はしている。対象に該当するか判断に迷ったら、商工観光交流課に相談していただきたい。
7 4	P137 秋田県企業誘致推進協議会負担金に関連して、IT企業も誘致の対象となっているか。また、対象となっている場合、三種町が選ばれない理由を分析しているか。 答 IT企業の誘致は、秋田市等へ進出している。本町への進出がないのは、サテライトオフィスがないのが要因と捉えている。
7 5	P137 地域商品券発行事業補助金について、2,811万円の予算のうち、プレミアム分の補助額は。 答 商品券の発行数が17,000セットなので、補助額は1,700万円となる。そのため、残額は事務手数料である。
7 6	P141 指定管理施設について、各施設の利用者は減少傾向にあるものと認識しているが、対応策は検討しているか。 答 経営会議等で問題意識を共有しており、サービス向上等、経営改善に努めている。
7 7	P141 房住山展望台改修工事費について、改修箇所は。 答 階段及び一段目のフロア等について、危険を除去できる改修を行う。
7 8	P141 ゆめっぴい遊具撤去工事について、これまでの利用状況は。また、撤去して終わりか。 答 近年は老朽化のため使用不可としている。撤去後の利活用については、遊具の設置も含め検討していく。

No.	質疑応答の概要
79	<p>P143 サンバリオの備品購入費について、食事用のテーブル・椅子を購入することだが、設置場所は。</p> <p>答 小上がりの座敷席にテーブル・椅子を設置する。</p>
80	<p>P143 森岳温泉街店舗開業支援事業補助金について、積算の内訳は。</p> <p>答 実績ベースにより、新規開業1件分と賃借料1件分を措置している。</p>
81	<p>P143 森岳温泉活性化イベント事業補助金について、令和6年度予算と同額か。</p> <p>答 森岳温泉活性化協力会によるイルミネーション事業の精査を行い、60万円ほど減額している。</p>
82	<p>P143 森岳温泉街店舗開業支援事業補助金及び森岳温泉活性化イベント事業補助金について、どのように森岳温泉街の活性化につなげていくか。</p> <p>答 森岳温泉活性化協力会とは、1人でも多く、町民の飲食店の利用を増やす、町外の宿泊者を呼込むといった目標を共有している。</p>
83	<p>P143 サンドクラフト補助金について、令和6年度予算から350万円増額した理由は。</p> <p>答 砂像に係る土木工事費について、物価高騰等の影響もあり、増大しているものである。</p>

一、付帯意見の協議

本分科会に付託された事件を審査した結果、次のとおり意見を付けることとする。

議案第24号 令和7年度三種町一般会計予算について

1 見積・精査を堅実に予算化せよ

漁業振興計画策定業務の関係経費である報償費及び旅費について、計画検討委員の人数・人選、または、視察先等の詳細が未定のまま予算化されている。そのため、当該予算が効果的に執行されるよう、計画策定に向けたロードマップを早期にまとめられたい。

2 債務の拡大抑制・計画的な償還を

令和7年度一般会計予算においては、一般廃棄物処理事業債や学校教育施設等整備事業債といった多額起債により、地方債現在高見込額が大きく膨れ上がっている。これ以上の債務拡大を抑えるとともに、計画的な償還を進め、住民サービスの低下や将来世代に過大な負担を残さないよう財政運営に努められることを強く求める。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

総務政策分科会委員長 平 賀 真

